

様式

技術名称	PDF工法 (フロート式プラスチックボードドレーン工法)	技術の分類	施工	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	掲載期間完了済 (旧NETIS番号:KTK-040002-A)
会社名等	(株)不動テトラ	担当者	尾形 太	連絡先	052-385-0803
技術の概要	PDF工法はプラスチックボードを排水材とした圧密促進工法の1つで、従来のサンドドレーン(SD)工法などでは、施工が困難とされていた超軟弱地盤である泥土や浅水域でも施工可能で適用範囲が広いことが特徴です。施工方法は専用小型フロート上または台船上にレールを敷設し、打設機を横行させて鉛直ドレーン(人工排水材;プラスチックボード)を打設します。圧密促進により、沈下に要する時間(工期)の短縮が可能です。またさらなる低コスト化として、サンドマットの代わりに水平ドレーンを用いることも可能です。	対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 国土交通省職員 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 一般(施工業者・コンサルタント等含む)		
		添付資料	パンプの有無 有 その他の資料 発表論文・協会資料 等		
技術の特徴	①従来工法では作業船が入域困難であった、泥面上や浅水域からの施工が可能である。 ②サンドマットの代わりに水平ドレーンを用いることで低コスト化や土砂処分場での容量増大効果が期待できる。 ③陸上運搬も可能な組立台船を用いることで、供用中の土砂処分場内など閉水域での施工も可能である。 ④作業船の位置決め後、打設機が横行レール上から、連続して複数のドレーンを打設するため、従来工法に比べて能率が高い。 ⑤地下水位低下や真空圧密など様々な载荷重工法と組み合わせることができる。 ⑥振動機を用いない無振動・低騒音の工法で施工時の周辺への影響がほとんど無い。	その他	活用に当たっては以下の点に留意が必要 ①特許使用料が必要 (特許番号3694761号 他)		

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。